



OBI 同窓会 NEWS Letter

お茶の水聖書学院同窓会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル2F
TEL.03-3296-1005 FAX.03-3296-4641 発行者 世良田 湧侍 編集者 戸川 偕生

同窓会会長就任のご挨拶

有田 貞一

主の聖名を心から感謝して、同窓会の皆様にご挨拶申し上げます。3期卒業の有田と申します。6月3日の同窓会総会において、戸川偕生前会長の後任という形で、選任されました。私自身、会社の仕事も一技術者として、全体の中のごく一部をこなしてきただけですので、全体を見てなにかをするような役割は、経験もないし、苦手な者です。したがって同窓会の奉仕も、皆様のアドバイスやご助力が必要であり、それが大きな支えとなりますので、よろしく願います。



1. OBI での学びの感謝

OBI で学ぶ機会が与えられましたことは、私の人生で、大変大きな恵みでありました。100%神様からの恵みによって、救われた者でしたが、ここでの学びも同様に 100%恵みによるものです。1983年に、OCCの中で、教育部が発足し、前学院長の増田誉雄先生(2010年召天)と現学院長世良田湧侍先生とが働きを開始され、10月からLLS(レイマン・リーダーシップ・セミナー)が始まりました。私は増田先生の経堂めぐみ教会の会員でしたので、先生に勧められるままに、週1日(夕方のクラス)学ぶ機会が与えられました。8年経過して、1991年4月からお茶の水聖書学院(OBI)と名称が変わり、新たにスタートすることになり、私も自動的に(?)入学しました。ゆっくりと学びましたので、卒業が3期になってしまいました。以来今まで、約30年間その学びが続いておりますことは、恵みと先生方の励まし以外のなにものでもありませんし、このような機会を

作っていただいた先生方に心より感謝しております。また多くの先生が召され、御国からOBIを見守ってくださっております。

2. OBI の特徴

OBIの特徴については、私なりに次のように思っております。①講師陣が一流であること。(これは増田先生がこっそり、私に言って下さったことです。)②受講生が皆、非常に熱心であること。③受講生がお互いに仲が良いこと。

3. これからの OBI

OBIのこれからということですが、今、OCCと一体になる方向で、話が進められています。OCCの宣教活動の一つとしてOBIもこれに加わるということになります。発足のLLSからOBIスタートの頃のことについて、すでに述べましたように、元々一つであったものが、再び元の形の戻るのです。しかし、OCCの宣教活動の一つという形でそのコンセプトをさらに拡大していく可能性を秘めております。OBIのこれからの働きも、より重要性を増して行くものと思います。私たちは学院生という立場からこのことを積極的に受け入れ、共に前に進んでいきたいと願っております。神様がOBIをそのご計画のもとに、私たちの思いをはるかに越えて豊かに導いて下さいますように。また学院生一人一人に対して神様が持っておられるご計画と可能性が、最大限に引き出されていきますようにお祈りさせていただき、ご挨拶に代えさせていただきます。

「神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。」エペソ2:10b)

任期を終えて

戸川偕生

2期にわたった同窓会会長の任を有田新会長に引き継いで頂くことになりました。

役員の方々に支えて頂き、また皆様のご協力を頂き4年の務めを終えることが出来ました。御礼申し上げます。

任期中に増田学院長が召天され、1ヶ月後OBI二十周年の記念行事が行われたこと、また、東日本大震災があり、東北地方にお住まいの同窓生から大きな被害があったとの報告に安心したことなどが思い出されます。

4年間の主のお導きを感謝し、新役員の上に、同窓会の上に主の祝福をお祈りいたします。

中島總一郎

ニューズレターや名簿の作成、発送などの事務的業務をお手伝いしながら、総会やスクーリング時の同窓会の司会を主なる役割として、総務を担当させていただきました。皆様のご支援とご協力をいただき、誠に有難うございました。

米田由起子

今は亡き三浦兄から引き継ぎましたが、初めは何も分からず、手探り状態でした。

皆さまのお祈りに支えられて、4年間の会計の役目を終えることができました。感謝します。

「ギリシャ・ローマの旅10日間」に参加して

梅澤近子

アテネのアレオパゴスの丘に登ると前方の小高いアクロポリスの丘に、パルテノン神殿がそびえていた。—そこでパウロは、アレオパゴスの真ん中に立って言った。「…この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みにはなりません。」—「パウロはあのパルテノン神殿を指さしながらこの説教をしたのではないのでしょうか。」飯島先生の言葉に「神のことばの現場に立つ」とはこのことなのだと思身の中から深い感動を覚えた。

ピリピを訪れたのは聖日の朝であった。非常に寒い日で、なんと前日には雪が降ったとのことであった。ここには巨大なローマ時代のアゴラ（広場、市場、教会、劇場、政治の施設など）の遺跡が残っており私たちはその野外劇場跡で礼拝をささげた。世良田学院長がこの地の最初の信徒ルデヤの信仰を話された。その後でルデヤ川の記念の現場に立ったが美しい川の流れであった。神を敬い、祈り深く、パウロをもてなした紫布の商人の凜としたルデヤの面影を偲ばせるにふさわしい記念の場所であった。また、私はピリピには特別な思いがあった。ここにはパウロとシラスが捕らえられ投獄された牢の跡があった。大地震の後に自害しようとした看守をとどめ、震えながらひれ伏す彼に一ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われま

す。」と言った。—未信者の夫と結婚した私は神さまの約束の御ことばを信じ、ずっと握りしめて祈ってきた。結婚後32年を経て約束を現実のものとしていただき、今、二人でこの地に立っている。感慨深かった。—牢を出たふたりは、ルデヤの家に行った。—とある。ルデヤ、看守、およびその家族たちが礎となって築き上げられたピリピの教会。私の愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ。とパウロはピリピ書で語っている。なんと麗しい関係であろう。遺跡の場所には無数の可憐な花が咲いていた。出ると入るをお守りくださった主に心から感謝して。



DVD から流れてきた神の愛

島田裕子

わたしは、子どもたちに神様の愛を伝えるために童話や児童小説を書いています。書き始めて15年近くたったとき、行き詰まりと迷いを感じ、何をすべきなのか祈り求めています。

すると、「神の国とその義とをまず第一に求めなさい」のみ言葉が示されました。書く技術を身につけることより、神様のことを第一に求めるべきだと思いました。でも、具体的にどうすればいいのか思いあぐねていたとき、お茶の水聖書学院で通信の学びがあることを教えていただきました。聖書を学ぶことが今のわたしに必要なのだと思い、早速申し込みました。

最初は通信の聴講生でした。卒業のことなどまったく考えておらず、単位も気にしないでDVDを視聴しながらゆっくり学んでいました。

旧約聖書にイエス様を示す言葉や出来事がたくさん書かれていることにまず驚きました。申命記はモーセの遺言だと聞いて、一字一句もおろそかにしないで読まなくてはと思いました。

旧約聖書は難しく、読んでいても意味のわからない箇所だらけですが、学んでいくうちに書かれている事柄の背後にある神様の愛に気づかされ、胸が熱くなりました。

旧約聖書の学びが終わると、新約聖書、聖書重要教理を受講しました。レポートは、最初要領がわからなかったのが、一か月近くかけて書いてきました。自信がなく、不合格になるのではないかと恐る恐る提出すると、講師の先生から丁寧なコメントをいただきました。半年で一課目というゆっくりペースでしたが、五年たったときは20単位になっていました。

卒業を意識したのはOBI20周年記念会に出席させていただいたときでした。OBIの歴史を知り、

どんな思いで学院が始められたのかお聞きしたとき、卒業したいという思いが与えられました。

2011年4月に聖書科の本科（通信）に編入しました。編入したとたん、卒業研究の説明があり、卒業するためには論文を書かなければならないことを知りました。卒業研究のために資料をTCUから取り寄せていただいたり、ルーテル学院大学の図書室に通ったりしました。同時にDVD授業をこれまでよりピッチを上げて受けました。

大変というより、楽しくて夢中になりました。2年後には必要単位を越え、論文も無事書き上げ、今年の3月卒業式を迎えることができました。

よく通信で卒業できたねと感心されますが、一生懸命頑張ったという気はしませんでした。難しすぎることやつまらないことを通信で勉強したら、きっと途中で挫折していたでしょう。でも学ぶたびに神様の愛がますます感じられ、もっと学びたいと思うのです。

神様の愛を伝えようと童話を書いていたのですが、わたし自身が神様の愛をどれだけ知らない者であったか気づかされました。OBIの学びを通して流れてきた神様の愛で心をいっぱいにして新たに書いていきたいと思います。

残念に思ったことは、7年の間に通信で指導してくださったお二人の先生が天国へ召されたことです。悲しいことでしたが、増田先生と西先生のスピリットがDVDを通してしっかりと伝わり、わたしの中で生きています。ここまで続けられたのは、素晴らしい先生方と背後で祈ってくださった方々、そして神様です。3K（感謝・感激・感動）を味わっています。

2013年度同窓会総会報告

2013年度同窓会総会は5月13日午前11時よりOCC416号室で開かれました。

出席者はOBIから藤原導夫副学院長、福井誠教務主任、同窓生は27名でした。

会は総会と愛餐会に別れ、総会では中島総務役員の司会で進められ、奨励を藤原副学院長がコリント I 10：31からして下さいました。その中で、OBIとOCCの合併を検討中であるとのお話がありました。どのような形になるかは未定ですが、神の栄光が現わされることを第一に祈って頂きたいとのことでした。

続いて会計報告、活動報告、予算と活動方針説明があり、その後役員改選が行われ、新年度の役

員が決定いたしました。

新役員は会長・有田貞一、総務役員・倉内一寿、会計役員・吉村瑠美子、会計監査・日名富子、食事執事・福井ちよ、鬼京由起子の姉妹です。役員任期は2年ですが、1年目は旧役員がアドバイザーとして協力することにいたしました。

愛餐会は、浪井姉妹の司会により和やかな雰囲気の中進められました。

ひとり2、3分の自己紹介と近況報告、中嶋二郎兄による研究科報告、三浦喜代子後援会長による後援会報告があり、午後2時閉会いたしました。（戸川記）

私は1991年にOBI一般音楽科に一期生として入学し、初めて声楽を学びました。8歳から始めたバレエを結婚でやめましたが、子供が成長して年が離れたのを機会に美容体操がてら近くのバレエ団へレッスンに通っていました。ある日、頭の中では出来る事が体がついて行かず転んだ瞬間、足の小指の側面を骨折してしまい、もう踊る事は出来なくなりました。数ヶ月が過ぎた頃、ギデオン協会大田支部で一緒だった姉妹から「OBIが新しくなり、友人が講師になるので、声楽科に入学しませんか？」とのお誘いを頂きました。子供の頃から賛美歌が好きで、日曜学校に通っていたので、二つ返事で入学。植木朋子先生の月2回のレッスンは楽しく、熱心に勉強致しました。全国教会音楽講習会にも毎年参加、聖楽独唱者の資格も頂く事が出来ました。10年程続きましたが、京都に居りました両親の介護もあって、休学しました。その当時私が所属していた日本キリスト教団の教会では、礼拝特別賛美はなく、神様は私に賛美の御用は与えてくださらないのか、と思いました。植木先生の賛美以外はなさらない生き方を

尊敬しつつも、私はいろいろな歌を歌いたくて、教会音楽以外の歌の勉強をどんどん始めました。仲間とのコンサートやリサイタルも出来る限り致しました。2005年4月夫と私は、神様のお招きがあり、横浜の日本同盟キリスト教団レインボーチャペル港北に転会致しました。その当時はレインボーチャペルは艱難の中に有り、数名の教会員で再出発という状況でした。牧師だった棚橋夫妻が私達の古い友人であり、どうしてもお支えしたいと云う思いからでした。この教会では聖餐式で特別賛美が有り、私は賛美の御用を与えられました。OBIに入学して15年後、漸く神様に賛美を許されたのです。何というお恵みでしょう。夫は四年前に、棚橋牧師も今年の七月五日に、天に召されました。今日までの苦しい試練によって、私は心より主を賛美する事が出来る様になりました。賛美は祈りであり、76歳を迎えた私は、声の出るかぎり、主を賛美する使命を全うしたいと祈っています。23年前に入学させて頂いたOBIの学びに感謝して。

収入	項目	今年	実績	差額
収入	前年度繰越金	113,563	111,653	1,910
	賛美歌集	120,000	120,000	0
	特別賛美	180,000	181,000	-1,000
	福音書朗読	30,000	30,000	0
	雑収入	70	0	70
	収入合計	443,633	442,653	980
支出	職員費	20,000	20,000	0
	印刷費	20,000	24,000	-4,000
	印刷委託費	180,000	182,100	-2,100
	印刷委託費(印刷費)	100,000	100,000	0
	雑費	160,000	134,111	25,889
	雑収入	41,000	0	41,000
	雑支出	42,000	40,000	2,000
	雑収入合計	154,000	154,000	0
	雑支出合計	342,000	346,111	-4,111
	雑収入合計	154,000	154,000	0
	雑支出合計	342,000	346,111	-4,111
	雑収入合計	154,000	154,000	0
	雑支出合計	342,000	346,111	-4,111
収入	項目	前年度予算	前年度実績	今年予算
収入	前年度繰越金	113,563	111,653	113,563
	賛美歌集	120,000	120,000	120,000
	特別賛美	180,000	181,000	180,000
	福音書朗読	30,000	30,000	30,000
	雑収入	70	0	70
	収入合計	443,633	442,653	443,633
支出	職員費	20,000	20,000	20,000
	印刷費	20,000	24,000	20,000
	印刷委託費	180,000	182,100	180,000
	印刷委託費(印刷費)	100,000	100,000	100,000
	雑費	160,000	134,111	160,000
	雑収入	41,000	0	41,000
	雑支出	42,000	40,000	42,000
	雑収入合計	154,000	154,000	154,000
	雑支出合計	342,000	346,111	342,000
	雑収入合計	154,000	154,000	154,000
	雑支出合計	342,000	346,111	342,000

編集後記

主の御名を賛美します。

同窓会ニューズレター35号をお届けいたします。今月号から音楽科コースの学びの証しを載せることになり、植木朋子先生の快諾の下、内田伶子姉の記事を掲載しました。また通信で長年学んでこられた島田裕子姉の証しを載せております。また今年3月のOBI研修旅行で行きました「ギリシャ・ローマの旅」について、梅澤近子姉の報告を掲載しました。ほかに、6月3日の同窓会総会の報告や会計報告を掲載しました。

OBIはOCCと一体になる方向で、話が進められています。OCCの宣教活動の一つとしてOBIもこれに加わるということとなります。発足当時の姿に戻るのですが、それだけではなく、そこには、私たちの思いを超えたさらに大きな可能性が秘められているのではと期待しております。同窓会もこの新しくなるOBIと共に進んでいきたいと願っております。

これから盛夏を迎えますが、お身体に気をつけてお過ごしください。皆様の上に主の守りと祝福が豊かにありますように。
(有田)